

同梱部品

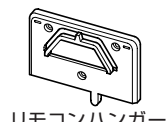
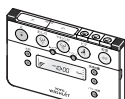
リモコン部品



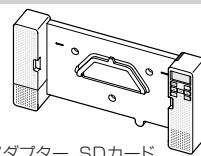
(Z1・Z2用)



(Z3・Z4・Z5用)

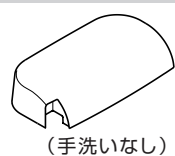


サウンドリモコン (Z5のみ)



ACアダプター、SDカード、乾電池 (単3:4個)、ねじ3本、アンカープラグ (3本)

ケースふた

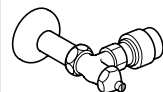


給水ホース

長さ:約400mm



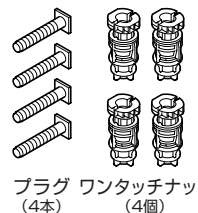
止水栓



ロータンクパッキン

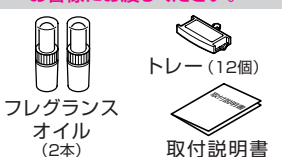


取付ボルト組品

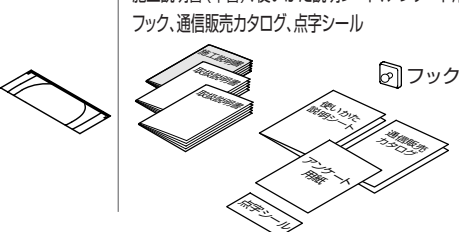


フレグランスセット (Z4・Z5のみ)

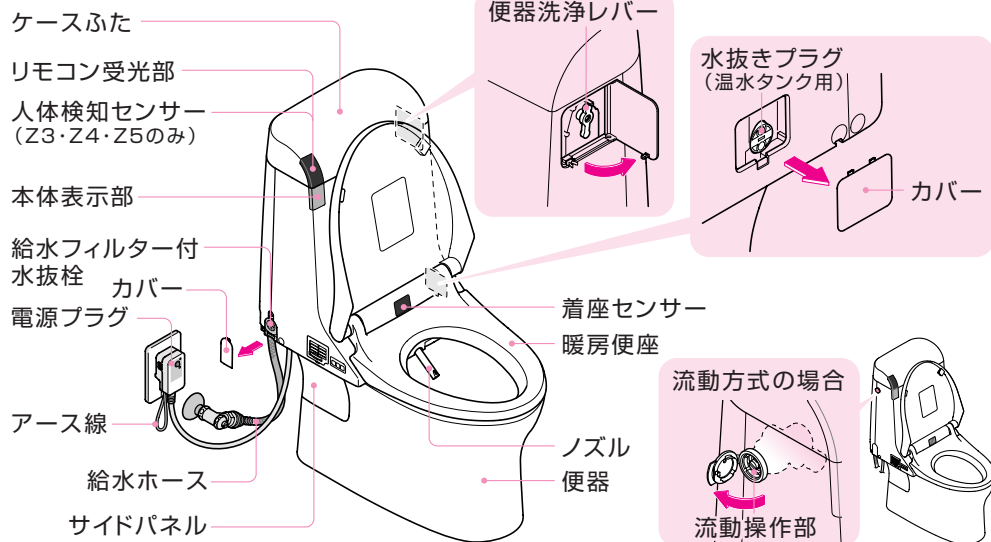
※フレグランスセットの箱は必ずお客様にお渡しください。



型紙



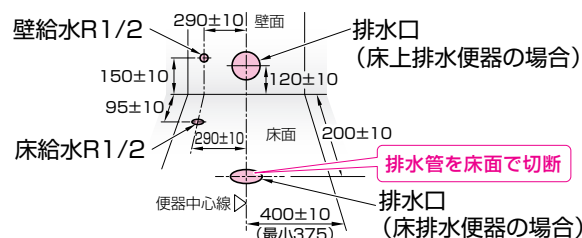
各部のなまえ



施工手順 この手順に従って施工を行ってください。

- 1 止水栓を取り付ける
 - 2 便器を取り付ける
 - 3 ウォシュレット本体を便器に固定する
 - 4 ケースふたを取り付ける
 - 5 給水ホースを接続する
 - 6 ロータンクの水量調節をする
 - 7 便器部サイドパネルを取り付ける
 - 8 アース線を接続する
 - 9 電源プラグを接続する
 - 10 リモコンを取り付ける
- 試運転 (作動・水漏れチェック) をする

1 止水栓を取り付ける



① 給水金具と排水管の位置を決める

※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

リモデルのときは...

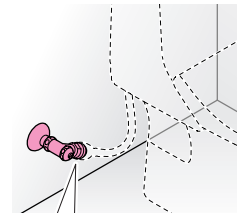
便器の施工説明書の取付範囲を確認してください。

② 止水栓を取り付ける

取り付け前に...

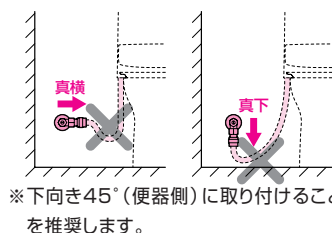
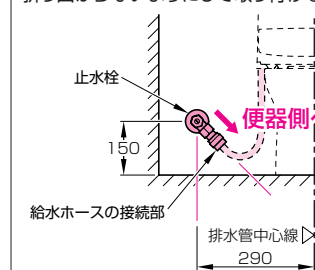
止水栓を取り付ける前に、給水管内のごみ、砂などを完全に取除いてください。同梱の止水栓を必ず取り付けてください。

壁給水

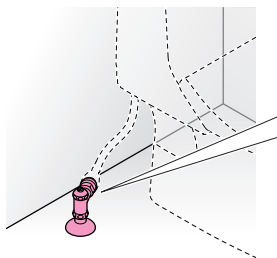


給水ホース接続部を下向き (便器側) に折り曲がらないようにして取り付ける

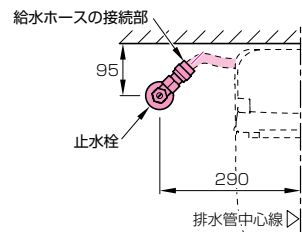
誤った方向に取り付けると給水ホースの折れ曲がりが発生し洗浄不良や漏水の原因になります。



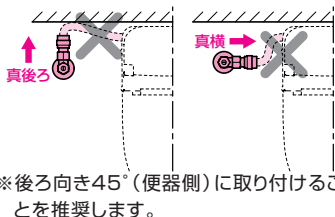
床給水



給水ホース接続部を後ろ向き（便器側）に折り曲がらないようにして取り付け



誤った方向に取り付けると給水ホースの折れ曲がりが発生し洗浄不良や漏水の原因になります。

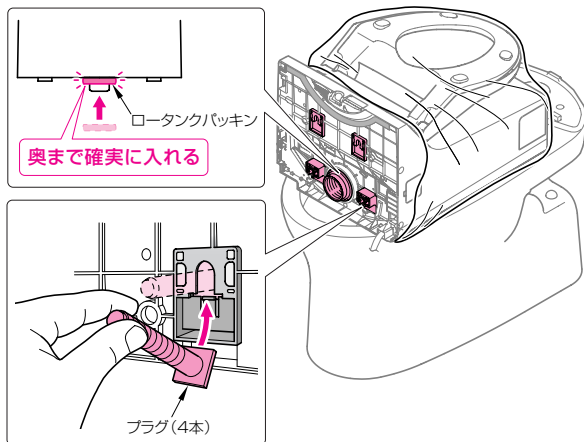


※後ろ向き45°（便器側）に取り付けることを推奨します。

2 便器を取り付ける

便器の取り付けかたは、便器側に同梱の「便器の施工説明書」をご覧ください。

3 ウォシュレット本体を取り付ける



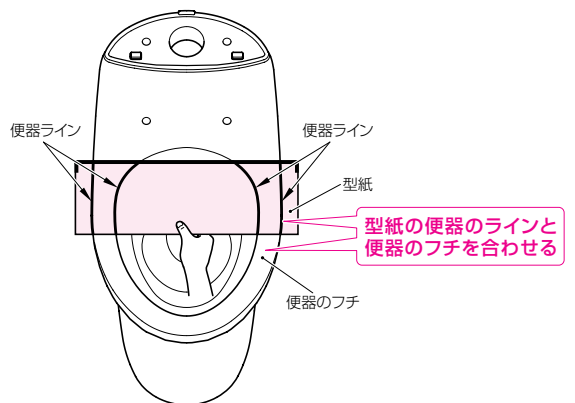
① ウォシュレット本体底面にロータンクバックンを取り付ける

△注意

ロータンクバックンは図のように正しく取り付けてください。正しく取り付けないと水漏れの原因になります。

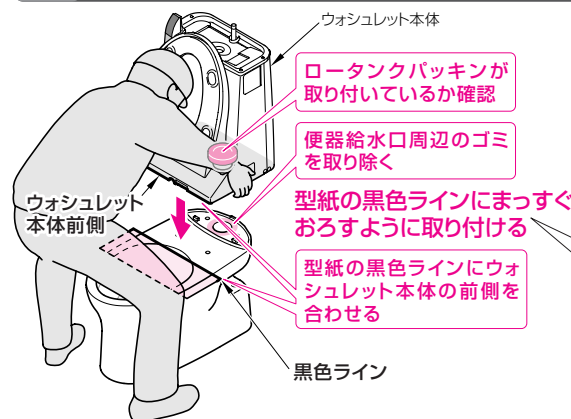
② ウォシュレット本体底面にプラグ（4本）を取り付ける

③ 型紙を置く

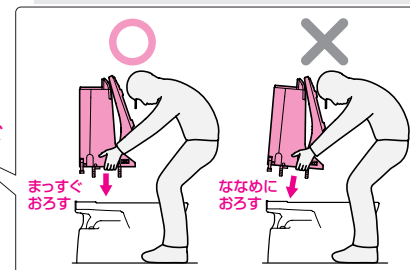


型紙の便器のラインと便器のフチを合わせる

3 ウォシュレット本体を取り付ける(つづき)



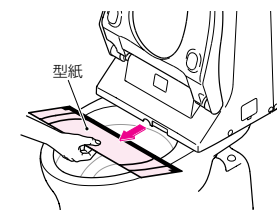
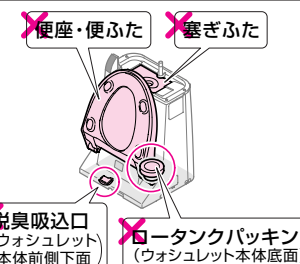
④ ウォシュレット本体を便器に取り付ける



△注意

バックン及び給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。また、便器にウォシュレット本体を取り付けるときは、必ずまっすぐおろしてください。ゴミを取り除けなかったり、ウォシュレット本体をななめにおろすとバックンがめくれて漏水する原因になります。

ウォシュレット本体を持ち上げるときは、右図の場所は持たないでください。右図の場所を持つと、便座・便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。



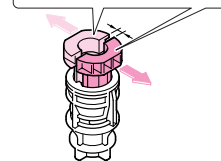
△注意

型紙をはすすときは、汚水防止バックンがめくれないように注意してください。

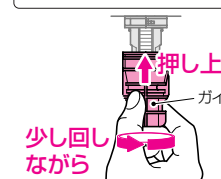
⑤ 型紙をはすす



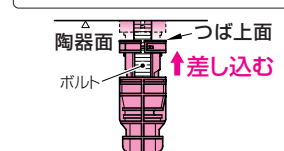
① つばが広がっていることを確認する



③ ガイドを少し回しながら押し上げる



② つば上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込む



④ ワンタッチナットを指先でしっかり締め付ける



⑥ ワンタッチナットでウォシュレット本体を固定する

※後側2カ所を先に固定してください。その後、便座の位置を合わせて前側2カ所を固定してください。

△注意

ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行ってください。工具を使用すると破損の原因になります。

確認!

※ウォシュレット本体のガタつきがないことを確認してください。

取りはすすときは・・・

本体を取りはすすときは、手で取りはすしてください。工具を使用しないでください。